



やさしく
かしこく
たくましく

平成28年11月14日(月)

文責：園田

学校教育目標：心豊かで自ら学びたくましく生きる子どもの育成

「変化を見逃さない目と心を持ちたい」

今夜は「スーパームーン」。。。見えるかな？



テレビやインターネットでも話題になっていますが、今夜、平成28年11月14日は、満月が1年で最も地球に近づく「スーパームーン」だそうです。

スーパームーンとは？

月は地球の周りを回る天体ですが、その軌道が楕円形であるため、地球と月の距離はいつも同じではありません。そのため、地球との距離が近い時は大きく、遠い時には小さく見えます。

スーパームーンとは、月が地球にもっとも近づいたタイミングで満月または新月になった月の姿やその現象のことで、最も近い時は、遠い時と約5万キロメートルの差があり、見える月の大きさは直径で約14%大きく、30%明るく見えるそうです。

去年2015年は、9月28日。そして一昨年の2014年は一年間のうちに数回スーパームーンを見ることができました。

今年は、満月としては68年ぶりの近さ。今年最も小さい4月22日の満月に比べると、直径で約14%、面積で約30%大きく見えるそうです。残念ながら、今日の天候では雲に隠れてしまいそうですね。

私が「スーパームーン」という言葉や、そう呼ばれる事象があるということを知ったのは4年前でした。(そもそもスーパームーンという言葉は天文学の用語ではなく、占星術に由来するのだそうです。)

2012年5月5日の夜だったと思います。用事を終え、その時はまだ、その日がスーパームーンの日だとは知らずに家路につきました。自宅に帰り、駐車場で車を降りた時、夜空を見上げ、何となくいつもと違うような気はしたのですが、「ちょっと明るくてきれいな月だなあ」と思ったくらいで、正直、いつもとの違いをあまり感じていませんでした。その月がスーパームーンだと知ったのは、その後、テレビニュースでその事を聞いた時でした。

その時に思ったのは、

「なんとなく」という程度の意識で過ごしては、変化にはなかなか気づくことはできない。ましてや、日常からの小さな小さな変化には、到底、気づくことはできないという事。

スーパームーンを例として挙げましたが、このことは単に「月」に関してのことではありません。

教師として、親として、学校あるいは家庭で、毎日、日常的に子ども達と接していることによる「慣れ」から、子ども達の変化に気づけていないこともあるのかもしれませんが。

しっかりと意識を持ち、子ども達の小さな変化や変容、成長を決して見逃さない目と心を持ちたいものですね。



左半分は平均的な大きさの月
右半分がスーパームーン



12日(土)、13日(日)の2日間、県下、各市町から1600名ほどの各小中学校PTA会員が集まり、「語り合おう今、大人が！地域が！」を大会スローガンとし、第53回長崎県PTA研究大会平戸大会が開催され、盛会のうちに終了しました。本校は平戸中学校PTAの皆様と共に第一分科会を担当しました。事前の準備から本番の2日間の運営に参加された大久保会長様を始め役員、会員の皆様、大変お疲れさまでした。スローガンのとおり、これからも共に語り合っていきましょう。笑顔のために！